



第97号

石川県生活協同組合連合会

〒920-0362 金沢市古府2-189  
コープいしかわ古府センター2F  
TEL076-259-5962 FAX076-259-5963  
<http://ishiikenren.jp>

発行日／2019年11月25日  
発行責任者／長谷川 隆史



報告をする小坂天星さん



(学校生協 宮一 真実)

## 2019 平和の取り組み

### 会員生協の平和の取り組み ●生活協同組合コープいしかわ

ピースデー2019は7月21日(日)、  
金沢市卯辰山玉兎ヶ丘「平和の子ら  
像」前広場で約110名が参加し開催さ  
れました。

主催の反核・平和おりづる市民の  
つどい実行委員会の構成団体から平  
和活動の報告がされ、コープいしか  
わの小坂天星（中学一年）さんが「ヒ  
ロシマ・ナガサキ平和の旅活動報告」  
を行いました。他、平和サーケルむ  
ぎわらぼうしの構成詩「ともに歩も  
う」の朗読、平和ミニコンサートが  
行われました。

**ピースデーに参加して**  
今年もピースデーに参加しました。  
卯辰山玉兎ヶ丘に来るたびに核兵器  
の廃絶、平和の大切さについて考え  
させられます。  
人は驚くほどの速さで過去を忘れ  
ていきます。原爆被災者の方からの  
体験談をお聴きするのも年々難しく  
なっています。「平和活動報告」で  
は、平成生まれの小坂君が被

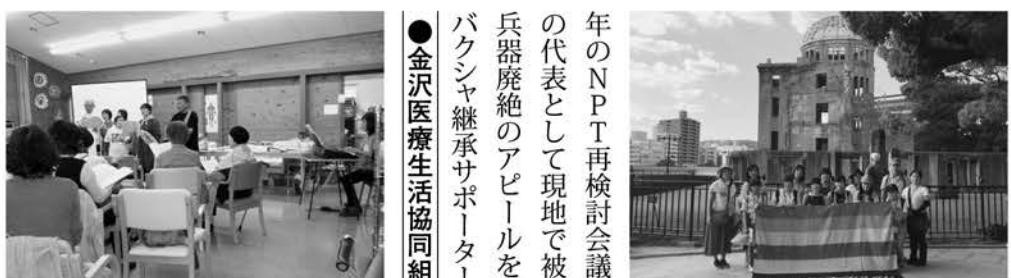
爆地を訪問して感じたことや、  
平和について学んだとの報告  
がありました。彼のような若い世代が戦争の歴史を語り継  
ぎ、平和を維持していく大切  
さを炎天下、平和の子ら像  
を見つめながら強く心に思つ  
たピースデーでした。

か月に一度の歌声喫茶には、毎回20人前後  
が参加しています。また、原水爆禁止世界  
大会の代表派遣はカンパ活動、沖縄連帯学  
習会も実施しています。



### ●金沢医療生活協同組合

組合員や地域の  
方々の参加で「歌  
声喫茶」を開催し  
て20年になります。



年NPT再検討会議にあわせて、組合員  
の代表として現地で被爆者のサポートや核  
兵器廃絶のアピールをする「ノーモア・ヒ  
バクシャ继承サポートナー」が選ばされました。  
学生がガイドとなる碑めぐりを通して被爆の実相を学  
びました。また来  
年もピースデーに参加しました。

組合員とその家  
族が参加した「平  
和の旅ヒロシマ」

では平和記念資料  
館見学や広島の中  
学生がガイドとな  
る碑めぐりを通して被爆の実相を学  
びました。また来

**生協連第1回役職員研修会**

**「民法改正と必要となる対応」**

●2019年9月9日(月)

●県地場産業振興センター

明治29年（1896年）7月に施行された民法は、120年ぶりに大改正されました。

日本生協連より総合マネジメント本部法務部部長 宮部好広氏を講師にお迎えし、生協が必要となる対応について会員生協から22名が参加し、学習しました。



参加者からの質問

（cope北陸事業連合 宮本圭一）

●研修会に参加して

実際に受講させて頂き、契約関係をはじめ、消滅時効、保証、債権譲渡など多岐にわたり、かつこれまでの制度を大きく変更する内容が含まれているので、皆が理解していく必要があると思いました。

●環境フェアに参加して

今年も「エシカル消費」をテーマに出展しました。「エシカル消費」とは消費者それぞれが地域社会、環境や人々に配慮して「モノ」や「サービス」を買うこと。環境にやさしい石鹼作り（雑貨）を通して、ワークショップに参加された方々と楽しむ「エシカル」体験ができました。

（共済生協 鶴山香央里）

**いしかわ環境フェア2019**

●2019年8月24日(土)～25日(日)

●県産業展示館4号館

copeいしかわと共同で出展し、「エシカル消費」のパネル展示、ワークショップ、エシカル商品の販売を行い、エシカルへの理解を深めていただきました。



環境フェアワークショップの様子

●防災訓練に参加して

今年も「エシカル消費」をテーマに出展しました。「エシカル消費」とは消費者それぞれが地域社会、環境や人々に配慮して「モノ」や「サービス」を買うこと。環境にやさしい石鹼作り（雑貨）を通して、ワークショップに参加された方々と楽しむ「エシカル」体験ができました。



小型船安全協会プレジヤーボート「ENKA KU」の2隻から受け取り、県広域物資輸送拠点まで届けました。

**石川県防災総合訓練に参加**

●2019年9月8日(日)

●野々市市一円

石川県との災害協定に基づき、copeいしかわ湊センターの配達トラック1台、役職員3名が救援物資輸送訓練に参加。野々市市に届けるアルファ米や乾パンの入った救援物資を

国土交通省港湾業務艇「わかな」と訓練しておく事が大事だと改めて思いました。



谷本知事に説明をする  
copeいしかわ 斎藤常任理事

（copeいしかわ  
常任理事 齋藤千絵）

●野々市市市民体育館では工コラライフくらぶと合同で体験ブースを出し、ジャッキアップ体験をされた方からは、「身近なジャッキをこんな風に使えるんだね」との声を頂きました。また来場された谷本知事にローリングストックの説明もさせていた

●当日は船から物資を受け取りトラックで輸送する役割でしたが実際に訓練に参加してみて感じた事は「備えあれば憂いなし」で災害発生時に迅速な対応ができるよう日に頃から訓練しておく事が大事だと改めて思いました。

（copeいしかわ  
湊センター長 国見憲二）

●野々市市市民体育館では工コラライフくらぶにご協力いただき、ローリングストックの展示・説明や子ども防災体験コーナーとして「ペットボトルで作るベッド」や「ダンボールトイレ」の展示・説明を行い

## いしかわフードバンク・ネットの活動



輪島市社協さん



講師の佐藤順子氏



ワンネススクールさんの発表

石川県社会福祉協議会  
村田 明日香

(いしかわフードバンク・ネット運営委員)

生協連は「NPO  
法人いしかわフード  
バンク・ネット」に  
加盟し、理事を選出  
活動を支援していま  
す。

記念フォーラムでは、設立を広く周知し、フードバンク、フードドライブの活動に理解を深め、地域での周知に努めることを確認しました。

記念講演には、佛教大学佐藤順子先生より海外のフードバンクの状況や活動についての発表がありました。

また、北陸農政局から消費者庁で準備がすすめられている「食品ロスの削減の推進に関する法律」の概要について説明いただきました。

ドバンク状況や国内活動への示唆をご教示いただきいました。記念講演のほか、輪島市社会福祉協議会とフリースクールなどを運営しているNPO法人ワンネススクールから日々の活動にフードバンク・ネットの食品を活用していることの発表をしていただきました。

●2019年8月26日 ●県地場産業振興センター  
「もつたないを笑顔につなげる」

### 設立記念フォーラム開催

## 新専務理事紹介



|       |         |
|-------|---------|
| ●氏名   | 堀口亮一    |
| ●入協   | 1990年   |
| ●所属生協 | コープいしかわ |
| ●趣味   | ウォーキング  |
| ●血液型  | A型      |

2019年6月17日、石川県生協連第54回通常総会において役員改選が行われ、専務理事に堀口亮一氏が新たに就任し、新体制がスタートしました。

私は県生協連の出会いは、入協した翌年に参加した反核・平和おりづる行進でした。当時は生活をする上での就職先として入協しましたので、目的なども理解せずに参加していたと思います。

その後は宅配事業や店舗事業、組合員活動に携わり、29年間、協同組合人としての歩みを刻んできました。人の温かさに支えられ、これまで仕事ができたのだと思っています。出逢った多くの方々に感謝しています。そのような自分が、来年で設立55年という歴史ある県生協連の専務理事に就任しました。

「一人は万人のために 万人は一人のために」の精神を大切に、はなはだ微力の身ではありますが、3つ柱を大切にして丁寧に業務執行を行う決意です。

1. 会員生協の活動を支援し、活動の交流や研修を行います。
2. 行政や諸団体との連携を推進し、地域社会に貢献する活動をすすめます。
3. 暮らしをめぐる諸課題に取り組み、施策に消費者の声を反映していきます。

皆様のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 会員生協紹介



日本医療福祉生協連では、組合員がめざす健康習慣として「8つの生活習慣」と「2つの健康指標」を定め、健康習慣の具体的実践として禁煙や運動などを一定期間実施できる健康チャレンジの取り組みを広めています。

金沢医療生協は、2010年から「秋の健康チャレンジ」を実施しています。地域まるごと健康づくりとして全国、健康づくりの習慣化を後押しする企画となっています。

今年度は初めて、金沢医療生協と石川県健康友の会連合会、コーディーしかわとの合同実行委員会で「いしかわまるごと健康チャレンジ2019」に取り組んでいます。また、石川県、金沢市、その他自治体、石川

県社会福祉協議会から後援も受けることができました。

これを機会に、町ぐるみで健康づくりの輪が大きくひろがってほしいと思っています。

(金沢医療生協)

柴原  
ひろみ)

## 金沢医療生協

### いしかわまるごと健康チャレンジ 2019の取り組み

|                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| チャレンジ9コース       | いしかわまるごと健康チャレンジ2019 半年度 |
| A 運動            | レポート                    |
| B 口の健康          | レポート                    |
| C 着替え           | レポート                    |
| D 球技            | レポート                    |
| E 私の健康法         | レポート                    |
| F 2019おすすめチャレンジ | レポート                    |
| G キッズチャレンジ      | レポート                    |

金沢大学生協では、食生活や健康について組合員が振り返り、生活スタイルの改善につなげてもらうための機会として「いきいきフェスタ」を実施しています。組合員が参加しやすいように、楽しんでチェックできる企画になるよう工夫しています。

## 金大生協

### 「いきいきフェスタ」の実施

| 日時                           | 開催場所                 |
|------------------------------|----------------------|
| 10月15日(火) 11:00~13:00        | 鶴間キャンパス保健福利施設2階第二集会室 |
| 10月16日(水)、17日(木) 11:00~17:00 | 角間キャンパス大学会館大ホール      |
| 10月18日(金) 11:00~15:00        | 角間キャンパス自然研食堂・購買前     |

| 項目       | 実施内容            | 担当             |
|----------|-----------------|----------------|
| 実施企画     | 健康セルフチェック       | 学生スタッフ         |
|          | カラダスキャン         |                |
|          | アルコールパッチテスト     |                |
|          | 飲酒体験ゴーグル        |                |
|          | お肌チェック          |                |
| 専門家への相談等 | 血圧測定            | 大学生協契約栄養士      |
|          | 栄養相談            |                |
|          | 食生活情報提供(17日のみ)  |                |
|          | 北陸農政局           |                |
| 実施企画     | 視力チェック(16日~18日) | かなざわ旭町コンタクトレンズ |
|          | 体力測定(16日~17日)   |                |
|          |                 | エイムスカイシップ      |

今回、4日間でのべ561名の方にご参加いただきました。毎年2回恒例企画として実施していることもあります。栄養相談やカラダスキャンの測定値が前回とどう変化したかを見るために参加する方もいました。また、友達同士で肌の水分量を比べたり、アルコールパッチテストの結果を見せ合ったりと楽しんでいる様子も伺えました。

今後も、定期的に実施し、参加者が楽しみながら健康について考えることができるように、ブースの内容を工夫しながら企画を実施していきたいと思います。

(金沢大学生協 井上美紗子)



## 協同組合連携

# 協同組合学習交流会

●2019年11月7日(木) ●石川県農業会館



講師の佐藤憲司氏



講師の前田健喜氏

学習交流会では「協同組合」について更に認識を深め、自らの役割及び協同組合連携の可能性について意見交換と交流を深めることを目的とし、JA、漁協、森連、生協の四つの協同組合から70名が参加しました。

県内の協同組合に従事する中堅幹部職員が一堂に会し、協同組合学習交流会を開催しました。

学習講演は日本協同組合連携機構（JCA）協同組合連携部長主席研究員の前田健喜氏が「JCAの発足経緯や協同組合の現状、またSDGsを見据えた今後の協同組合連携について」説明されました。

その後のグループディスカッションではJCA協同組合連携部主任研究員の佐藤憲司氏の指導で「地域の課題解決に向けた協同組合連携の可能性」についてグループに分かれて話し合いました。



グループ  
ディスカッションの  
様子



### 参加者アンケートより（生協）

◆協同組合の横のつながり不足と各組合の事実などの周知不足、情報交換の必要性を感じました。

今後の連携の在り方として“ゆるやか、あいのり、やってみる”を今後大切にしていきたいと思います。

（コーピーしかわ参加者）

◆短い時間でしたが、他の協同組合の仕事を聞くことができ、良かったと思いました。こういうことをしているのかと思うことが多いです。交流会がもつとあつてもいいかなと思いました。

（学校生協参加者）

◆協同組合連携について推進している事例を学ぶことができました。グループ交流では、あらためて“同じ協同組合”なのに知らないことが多すぎること、直面している課題の多くは共通していることもわかりました。

（金大生協参加者）

◆他業種の方と意見交流が出来て、知らないことが聞け知る機会となり良かったです。実際に話した方、学んだ事、仮説として考えたことをが1つでも実現できたらと思います。

（コーピー北陸参加者）

### 参加者アンケートより（他協同組合）

◆異なる協同組合との交流はとても新鮮で、貴重な機会となりました。同じ目的に向かって、今後も意見交換していけたら良いと思いました。

今後も定期的に開催してほしいと思います。

（JA金沢中央参加者）

◆今回は大変良かったと思います。今後も続けていくことで、多くの課題が解消される方向に行くかと思います。また、参加できればと思っています。

（JA石川かほく参加者）

◆今後、もっと情報交換をすることにより、協同組合間の相互理解が深まれば、連携などできることがあると思います。また、機会があれば、ぜひよろしくお願ひいたします。

（石川県漁協参加者）

◆今後の組合運営に参考になりました。各事業の組合も同じような問題を抱えていることが共感でき、安心しました。次回も開催されるのであれば、大変良い事だと思います。

（かが森林組合参加者）

### ◆県生協連活動日誌◆

- 7月 3 第1回三役会 古府センター会議室  
 5 いしかわフードバンク・ネット運営委員会 フрендパーク  
 7 ヒバクシャ国際署名七夕キャンペーン 近江町市場 エムザ口付近  
 9 労福協第1回事業団体連絡会 フрендパーク  
 10 第2回都道府県協同組合連携組織全国交流会 TKP東京駅日本橋 カンファレンスセンター  
 17~18 第1回県連活動推進会議 コーププラザ  
 21 ピースデー 卯辰山玉兎ヶ丘  
 8月2~16 平和のパネル展 県庁展望ロビー  
 6 労福協理事会 フрендパーク  
 7 第2回理事会 コープたまほこ  
 7 労福協第2回事業団体連絡会議 フрендパーク  
 16 いしかわフードバンク・ネット運営委員会 フрендパーク  
 17 第2回消費者支援ネットワークいしかわ理事会 石川県女性センター  
 22 非常用通信機器訓練  
 24~25 いしかわ環境フェア2019 石川県産業展示館4号館  
 26 いしかわフードバンク・ネット設立記念フォーラム 地場産業振興センター  
 28 第3回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会 松ヶ枝福祉館  
 30 第1回石川県食品安全安心対策懇話会 佃食品㈱  
 4 第2回三役会 古府センター 会議室  
 6 「声が世界を動かした」DVDを観る会 金沢市女性センター  
 9月 6 第2回消費者支援ネットワークいしかわ消費者部会 県消費生活支援センター  
 8 石川県防災総合訓練 野々市市  
 9 生協連第1回役職員研修 県地場産業振興センター  
 13 第2回広報委員会 生協連事務所  
 17 第4回企画運営委員会 生協連事務所  
 26 第2回地連運営委員会、県連活動推進会議 名古屋東急REIホテル



**私のおススメの一冊**  
**「総員玉碎せよ!」**

◆著者:水木しげる 講談社文庫  
 ◆定価:本体690円(税別)

「総員玉碎せよ!」は、太平洋戦争の末期、パプアニューギニアニューブリテン島の敗色濃い昭和20年、下級兵士から見た戦争の姿を書いた「戦記まんが」です。前半では下級兵士のビンタと食料探しで明け暮れる日常生活が描かれ、後半では年若い支隊長が「死に場所」を得るために玉碎を決意し、無謀な突撃を決行します。多数の兵隊が生き残り、玉碎しそこねた兵隊は、もはや存在してはいけない部隊として再度玉碎を強要され、突撃して死んでいきます。貫かれているのは下級兵士から見た不条理な戦争そのものの姿です。

最近の「戦争漫画」の世界では、軍歌の世界、友情・将校と兵士の一体感、楽しくかっこよく描かれ、「これが戦争だ」とあり得ない書き方をしていてびっくりします。

2等兵で戦争に行って片腕を失った水木さんの描写は緻密でかなりアリテイがあります。若者には少し説明も必要でしょう。是非、今一度読んで若者に説明をしてあげて話し合って頂きたいお勧めの1冊だと思います。

推薦者:Y(金大生協)

### 編集後記

■元気で長生きしたいと思うのはみんなの共通の願いです。そのためには、バランスの良い食事、適度な運動、質の良い睡眠、それにもう1つ「笑う」ことが大切だと言われます。

面白くなくても「ワッハッハ」と笑うと脳を騙せるそうです。最初は無理して笑いを作っていても、だんだん樂しくなってきます。不思議ですね。

■8ヶ月の休職を得て、今年6月に復職しました。仕事と家庭の往復の日常が、本当はとても貴重で大事なものだと実感しました。

毎日元気であたりまえ、美味しくご飯を食べてあたりまえ、でも本当はとてもありがたいことです。

「毎日を大事に」とは感謝しながら、楽しく生活するとかなと思っています。

(事務局 加藤喜美子)